

住みやすいまちに関するアンケート（転入者）

集計報告

平成27年10月

序章 調査の概要

(1) 調査の目的

岩倉市では、『多様な縁で創る「役立ち感」に満ちた市民社会をめざして』を基本理念として掲げた第4次岩倉市総合計画に基づいて市政運営を進めています。また、全国的に人口減少や少子高齢化が進んでいる中、本市では、住みやすいまちづくりを進めるための戦略（計画）づくりをスタートさせたところです。

そこで、より一層住みやすいまちづくりを進めていくための基礎資料を得ることを目的に、岩倉市に転入された20～60歳の市民の皆さんを対象にアンケートを実施しました。

(2) 調査対象及び調査方法

①調査対象

平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）に岩倉市外から市内に転入してきた20歳～60歳の市民 966人

②調査方法

郵送配付・郵送回収方式

③調査期間

平成27年7月30日から平成27年8月19日までの期間

(3) アンケート票の配付・回収状況

表 0-1 配付・回収状況

配付数	有効回収数	有効回収率
966	312	32.3 (%)

(4) グラフの見方等

グラフは、原則として単数回答は帯グラフ、複数回答は横棒グラフやダンゴ形のグラフを用いて表現しています。

図中の構成比(%)は、複数回答、単数回答ともに、小数点以下第2位を四捨五入していますので、合計は必ずしも100.0%にはなりません。

一部のグラフにおいては、「不明（回答なし）」は省略してあります。また、設問のカテゴリー（選択肢）などの表現は、一部省略してある場合があります。

第1章 あなたやあなたのご家族などについて

(1) 性別・年齢(問1)

問1 あなたの性別・年齢をお教えてください。

図 1-1-1 「性別」

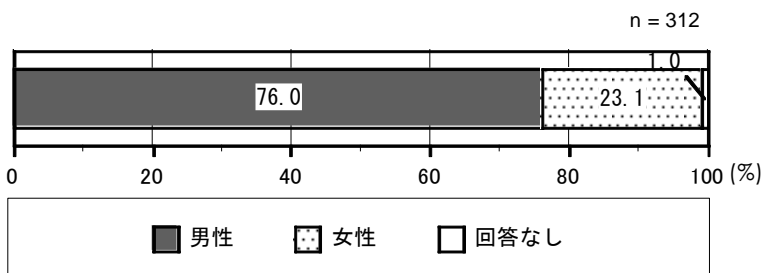
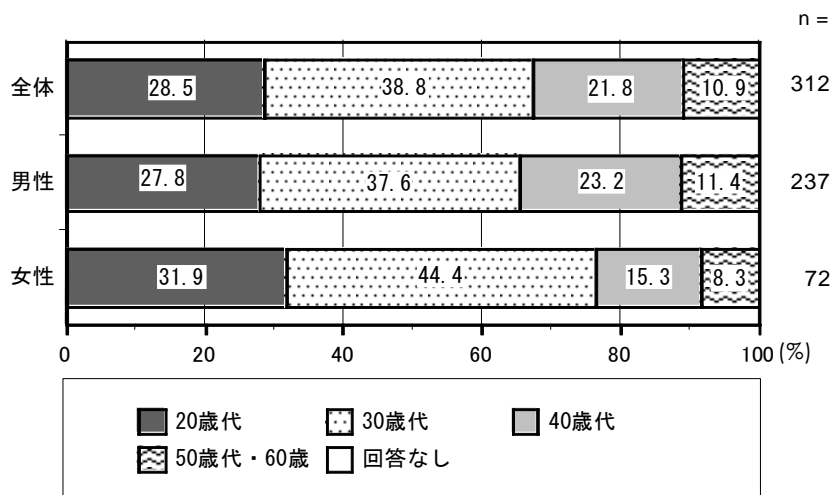


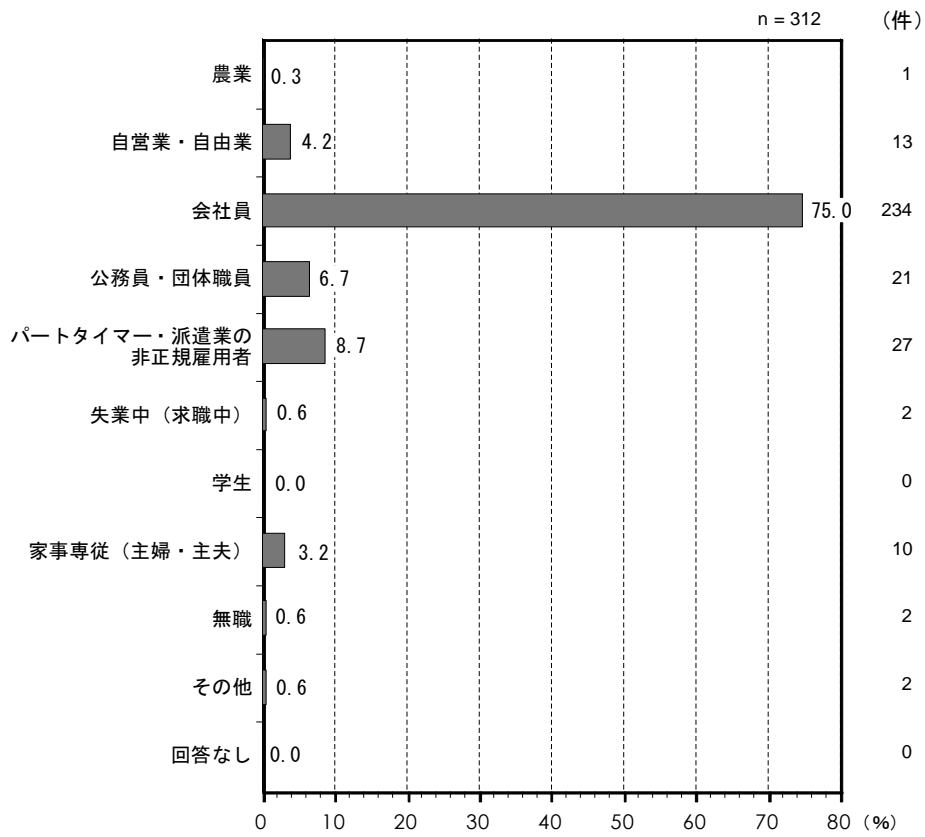
図 1-1-2 性別「年齢」



(2) 職業 (問2)

問2 あなたの職業は何ですか。

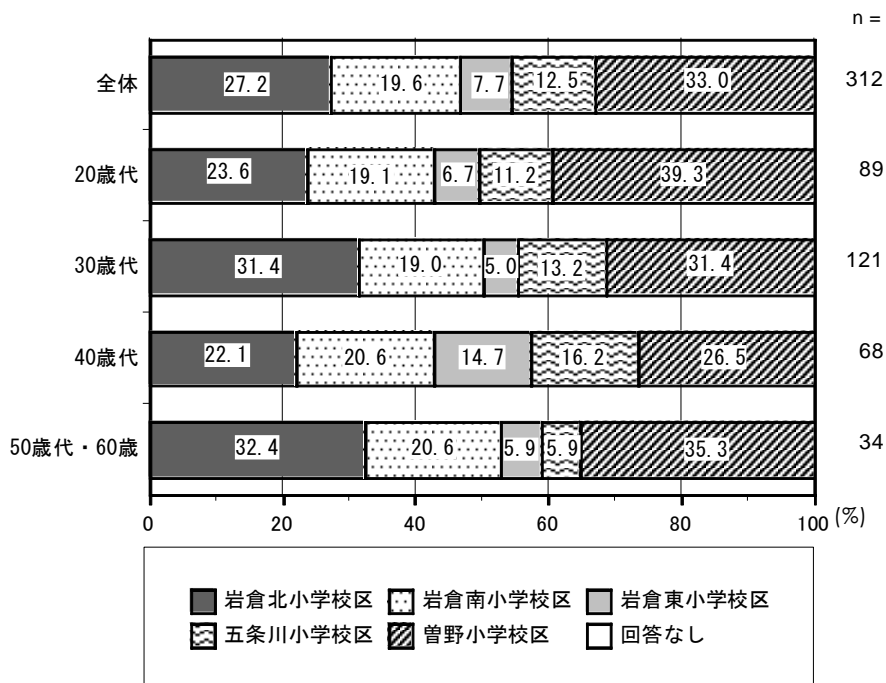
図 1-2 「職業」



(3) 居住地（校区）（問3）

問3 あなたのお住まいはどの校区にありますか。

図1-3 年齢別「居住地（校区）」

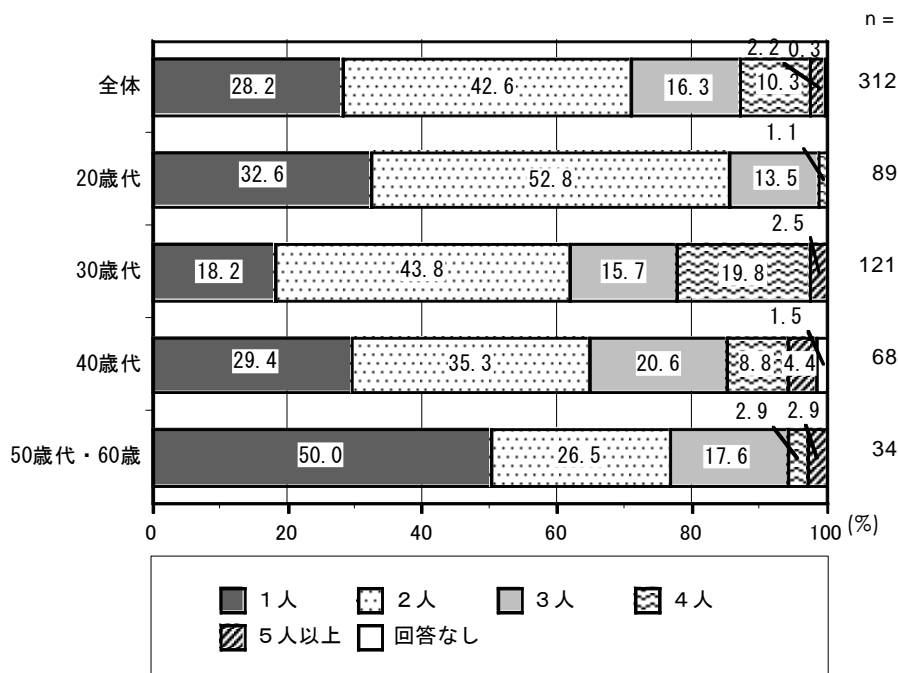


(4) 家族の人数（問4）

問4 岩倉市に転入されたご家族の人数は、あなたも含めて何人でしたか。

転入した家族の人数は、「1人」や「2人」、が約7割を占めています。

図1-4 年齢別「家族の人数」

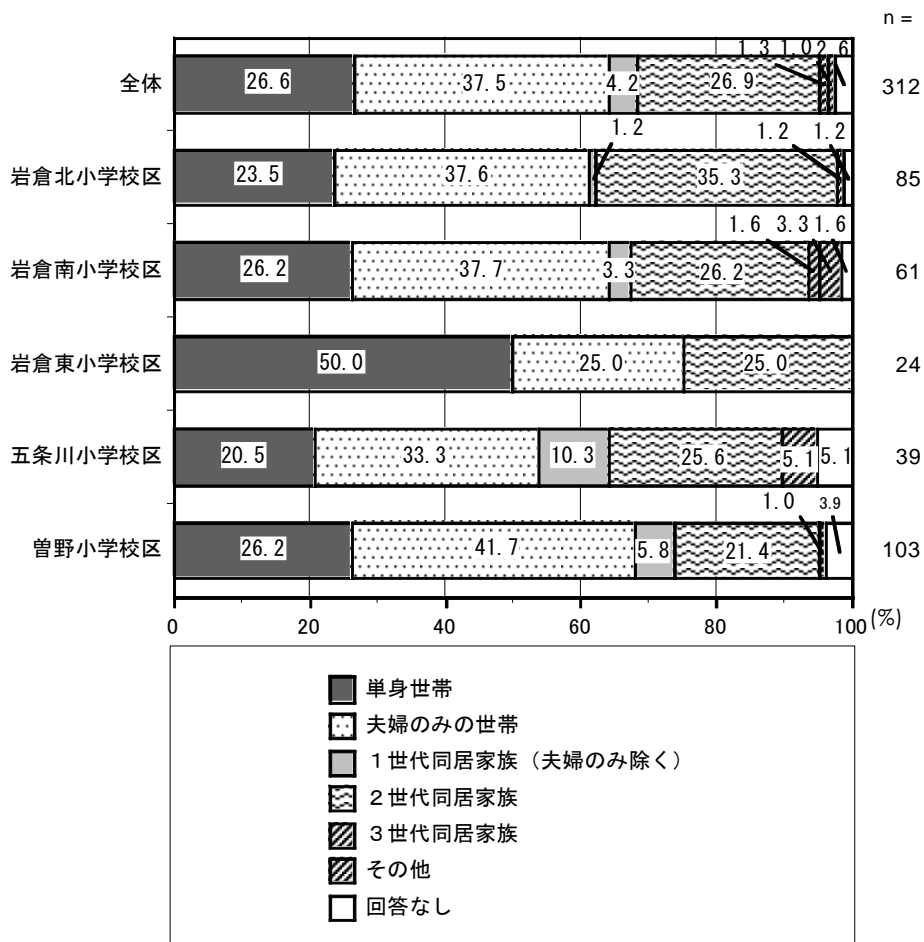


(5) 家族構成 (問5)

問5 岩倉市に転入したあなたのご家族の構成は次のどれに属しますか。

核家族 (2世代世帯や夫婦世帯) での転入が 64.4%、単身での転入が 26.6%を占めています。

図 1-5 居住地 (校区) 別「家族構成」



(6) 同居の家族(問6)

問6 岩倉市に転入したあなたのご家族の中には、次のいずれかにあてはまる方はいますか。【あてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。】

転入してきた家族の中で子どもや学生が含まれている家族は 29.8%となっています。子どもの年齢は、未就学児が多くなっています。

図 1-6-1 「同居の家族」

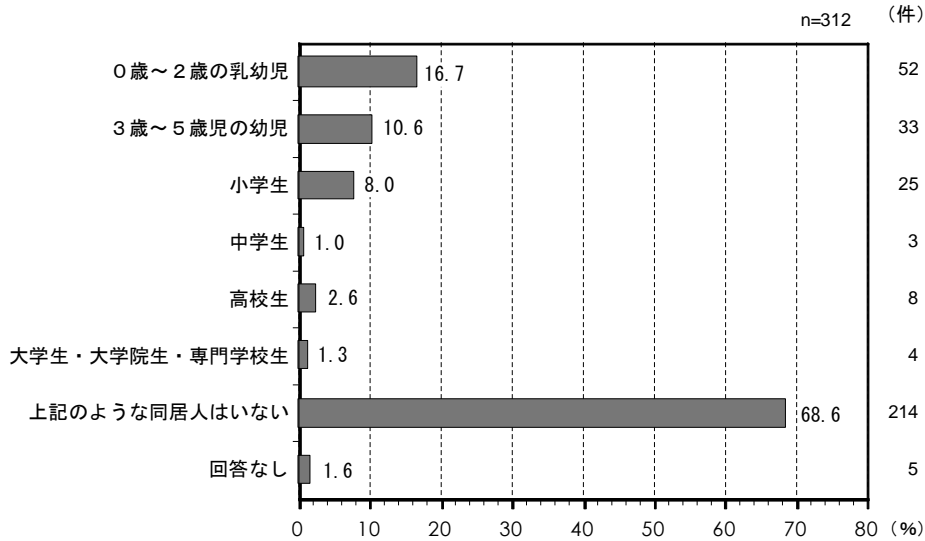
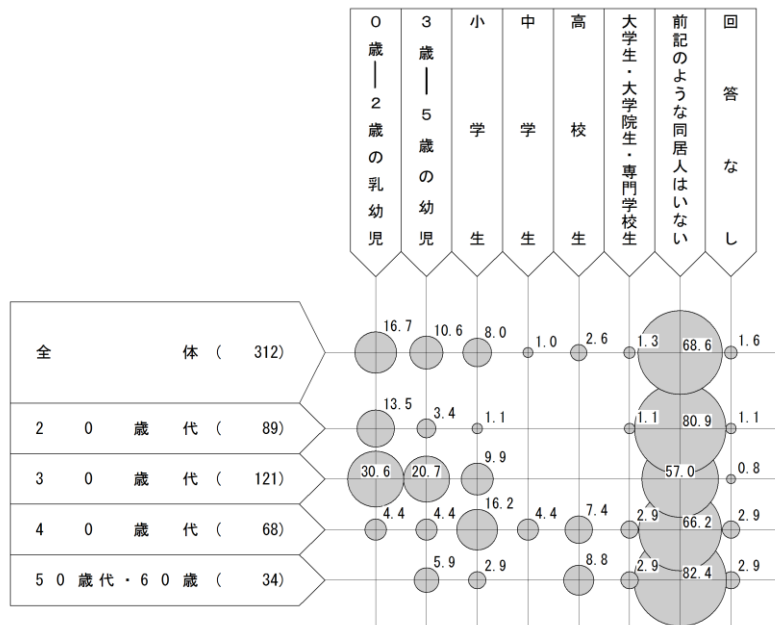


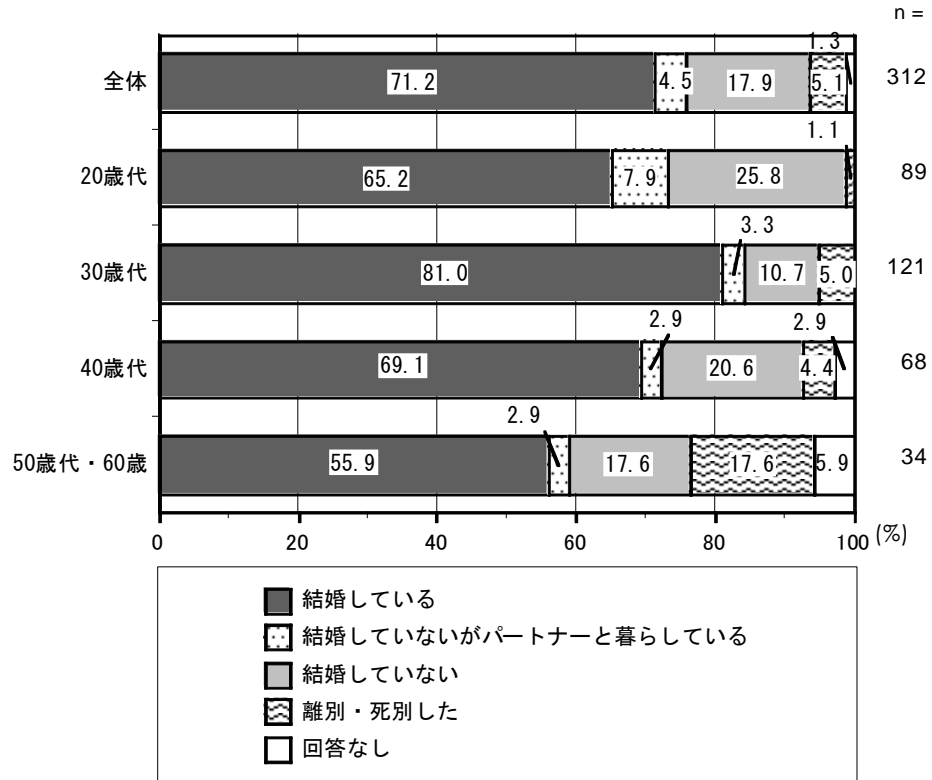
図 1-6-2 年齢別「同居の家族」



(7) 結婚の有無 (問7)

問7 あなたは結婚していますか。

図 1-7 年齢別「結婚の有無」



第2章 岩倉市への転入理由や転入前後の様子について

(1) 転入の理由 (問8)

問8 岩倉市に転入してきた(引越しをしてきた)主なきっかけは何ですか。【あてはまるものを2つまで選んで番号に○印をつけてください。】

転入した主な理由は、「適当な持ち家・賃貸住宅を探していたため」が38.5%と最も多く、「転勤・転職のため」(29.2%)や「結婚のため」(25.3%)が続いています。

図 2-1-1 「転入の理由」

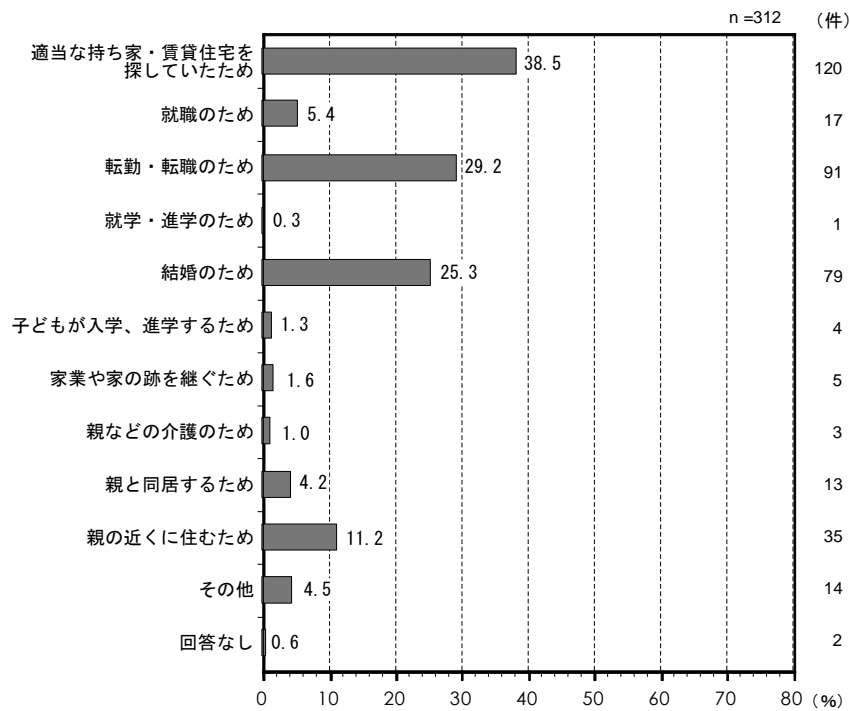
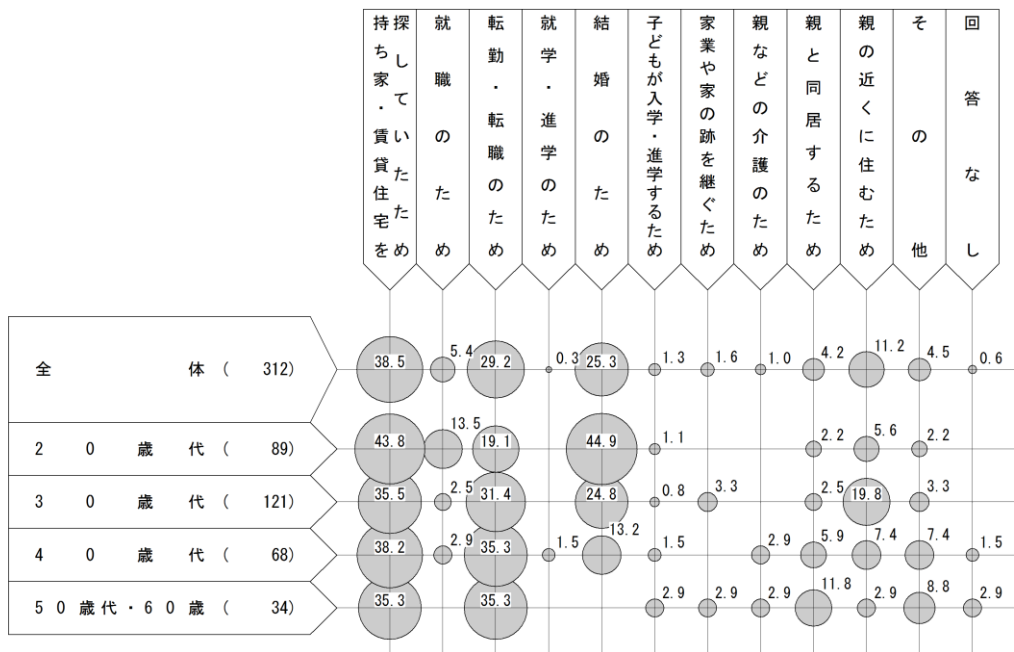


図 2-1-2 年齢別「転入の理由」



(2) 選択の理由 (問9)

問9 転入先(引越し先)として岩倉市を選んだ主な理由は何ですか。【あてはまるものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。】

交通の利便性や住宅取得面が転入先として岩倉市を選んだ主な理由となっており、特に「通勤・通学が便利のため」(62.8%)や「適当な家賃のアパート等の賃貸住宅が見つかったため」(47.2%)を理由としてあげる人が多くなっています。

図 2-2-1 「選択の理由」

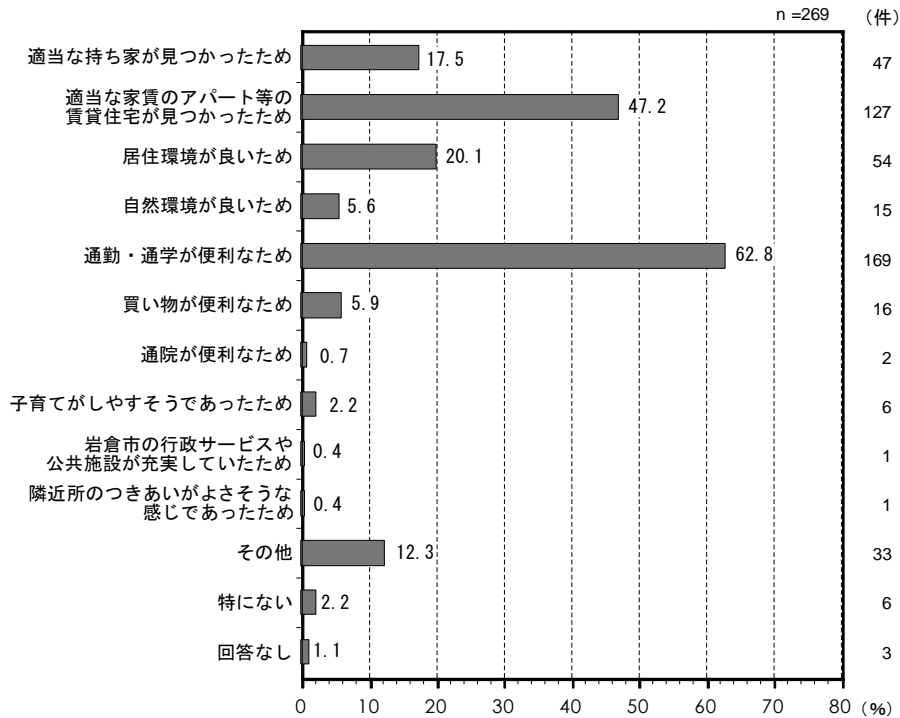


図 2-2-2 年齢別「選択の理由」

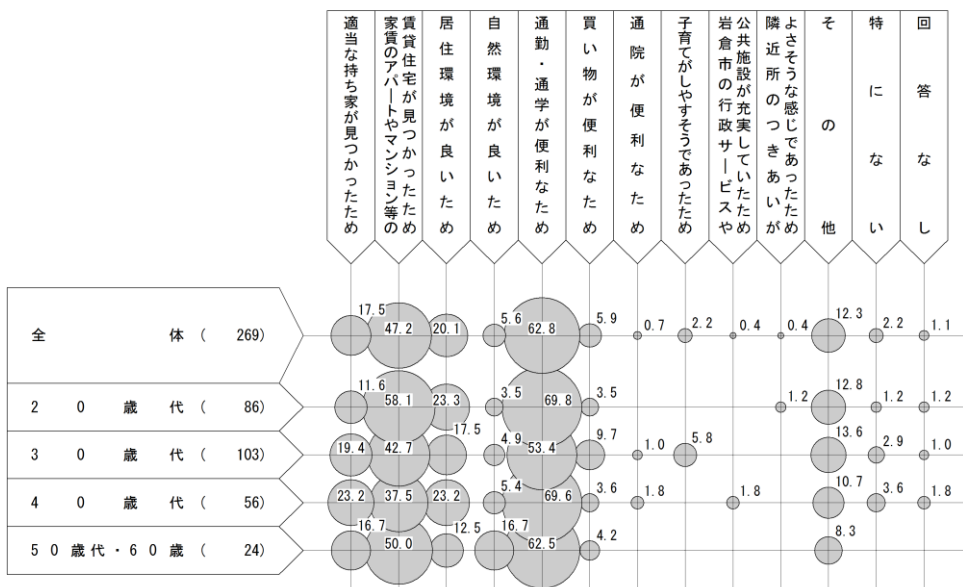


表 2-2 「選択の理由」カテゴリ「その他」の内訳

カテゴリ「その他」の内容	件数
実家に近いため。	10
実家があるため。	7
社宅・社員寮があるため。	6
以前、住んでいた。	2
名古屋市に近い。	2
交通の便。	1
会社が指定したため。	1
会社の紹介。	1
住み込みの仕事のため。	1
婚約者が岩倉に住むことを望んだため。	1
知り合いが居たため。	1
合計	33

(3) 前住地 (問 10)

問 10 あなたは、岩倉市に転入する前はどこに住んでいましたか。

全体の7割近くが、愛知県内の自治体からの転入が占めており、中でも、「一宮市・小牧市・江南市・北名古屋市」といった隣接自治体や「名古屋市」といった近接している自治体からの転入が愛知県内の7割強、全体の5割強を占めています。

図 2-3 「前住地」

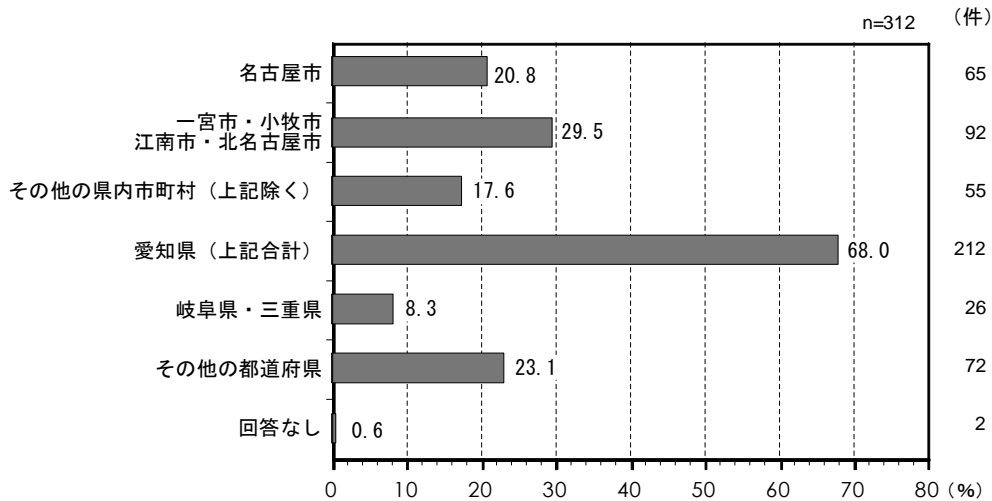


表 2-3-1 「前住地」カテゴリ
「その他の県内市町村」の内訳

その他の県内市町村	件数
春日井市	7
犬山市	6
清須市	5
東海市	3
豊田市	3
稲沢市	2
あま市	2
岡崎市	2
豊川市	2
安城市	2
半田市	2
豊山町	2
愛西市	2
知立市	2
大口町	2
扶桑町	2
西尾市	1
知多市	1
新城市	1
日進市	1
長久手市	1
大治町	1
美浜町	1
弥富市	1
不明	1
合計	55

表 2-3-2 「前住地」カテゴリ
「その他の都道府県」の内訳

その他の都道府県	県件数
東京都	11
神奈川県	11
大阪府	7
静岡県	7
千葉県	6
長野県	3
福井県	2
福岡県	2
茨城県	2
岡山県	2
島根県	1
山形県	1
山梨県	1
広島県	1
和歌山県	1
群馬県	1
宮城県	1
沖縄県	1
岐阜県	1
兵庫県	1
鳥取県	1
北海道	1
(海外)	3
不明	4
合計	72

(4) 転入前後の住宅のタイプ (問 11)

問 11 岩倉市に転入する前（前住地）の住宅のタイプと岩倉市に転入した後（現在地）の住宅のタイプをお教えてください。

転入後の住宅タイプは、「賃貸アパート・マンション等（建物が3階建以上）」（37.8%）と「賃貸アパート等（建物が2階建以下）」（28.2%）が合わせて66.0%を占めています。

転入前後を比較すると、「賃貸アパート・マンション」⇒「一戸建ての持ち家」という転居パターンもある程度みられますが、「一戸建ての持ち家（実家・親の家）」又は「賃貸アパート・マンション」⇒「賃貸アパート・マンション」が多くなっています。

図 2-4-1 「転入前後の住宅のタイプ」(転入前後比較)

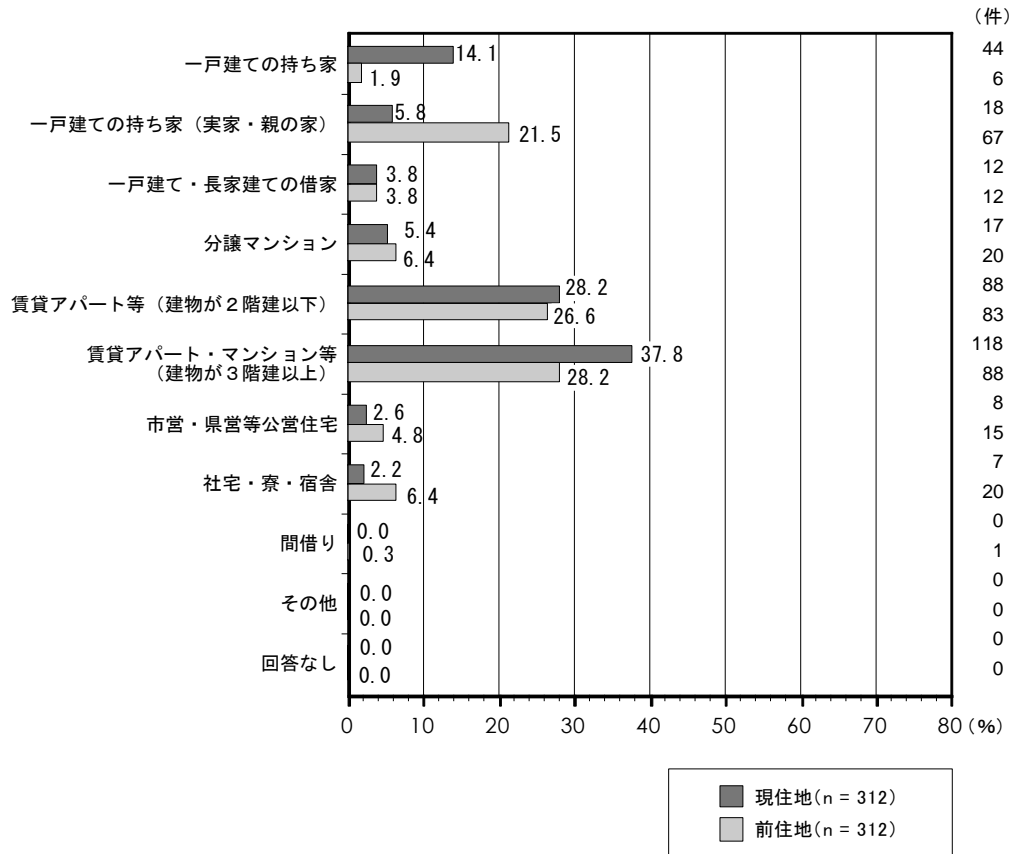


図 2-4-2 前住地の住宅のタイプ別「現住地の住宅のタイプ」

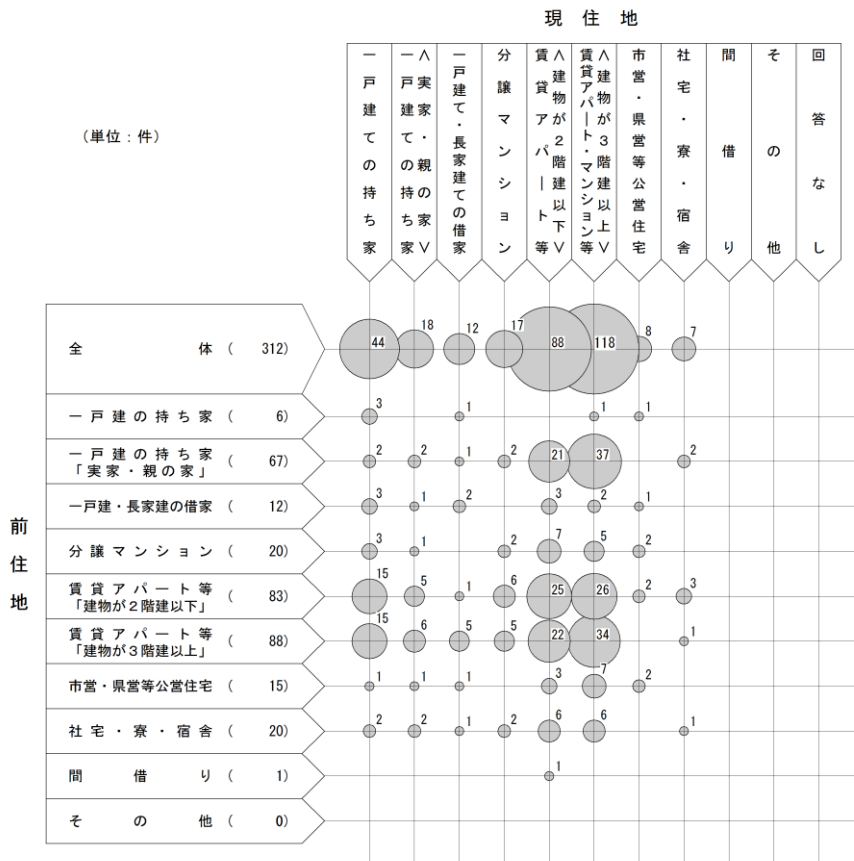
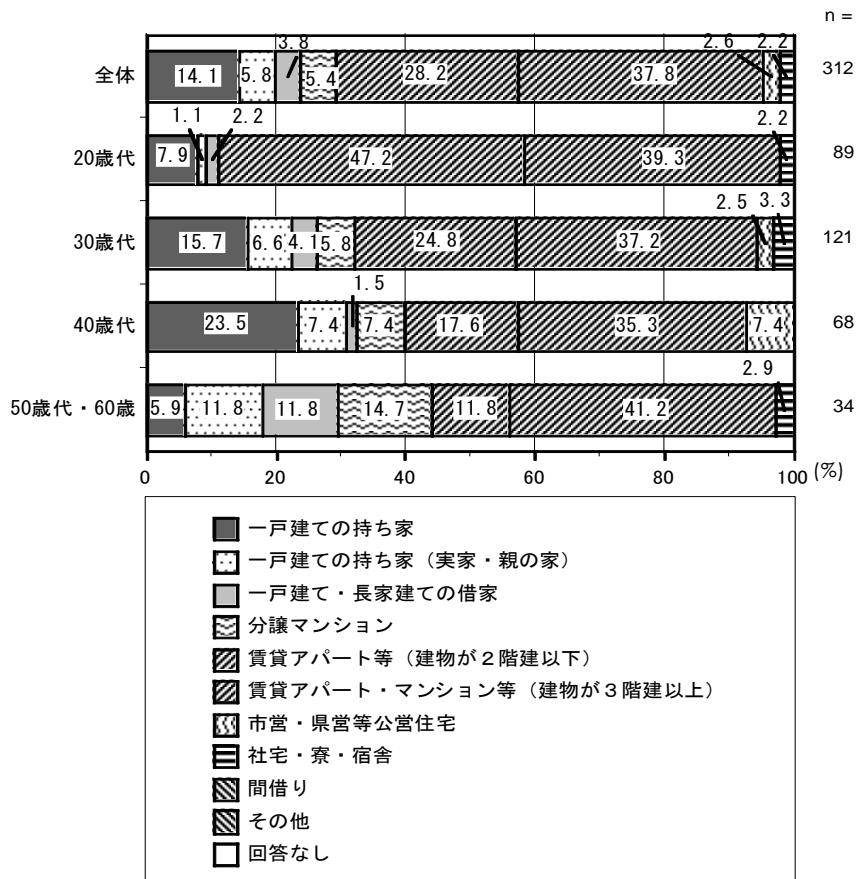


図 2-4-3 年齢別「転入前後の住宅のタイプ（現住地）」



(5) 住みやすさに関する比較評価 (問 12)

問 12 岩倉市に転入する前（前住地）と岩倉市に転入した後（現住地）とでは、どちらが住みやすいですか。①から⑱までのそれぞれの項目の面からみて、前住地に比べて岩倉が住みよいかどうか、1～5の番号に○をつけてください。

岩倉市と前住地に関する各項目の住みやすさについて、下記の方法により5段階の得点を付け、平均得点を算出しました。この評点を指標として、住みやすさの分析を行いました。平均得点は、+2点に近いほど岩倉市の方が住みやすいことを示し、逆に-2点に近いほど岩倉市の方が住みにくいことを示しています。

【住みやすさの平均得点の算出方法】

住みやすさ	得点 (評点)
岩倉の方が住みやすい	+ 2 点
岩倉の方がやや住みやすい	+ 1 点
どちらともいえない	0 点
岩倉の方がやや住みにくい	- 1 点
岩倉の方が住みにくい	- 2 点

住みやすさの平均得点

$$= \{ \text{「岩倉の方が住みやすい」の回答数} \times (+2 \text{点}) + \text{「岩倉の方がやや住みやすい」の回答数} \times (+1 \text{点}) + \text{「岩倉市の方がやや住みにくい」の回答数} \times (-1 \text{点}) + \text{「岩倉市の方が住みにくい」の回答数} \times (-2 \text{点}) \} \div \text{総回答数}$$

岩倉市の方が評価の高かった項目は、「鉄道やバスなどの交通」や「適当な家賃のアパート等の賃貸住宅の取得のしやすさ」、「自然環境の豊かさ」などです。逆に、岩倉市の方が評価の低かったのは、「ごみ収集や処理の状況」や「自動車で移動する際の道路の整備状況」などです。

図 2-5-1 「住みやすさに関する比較評価」

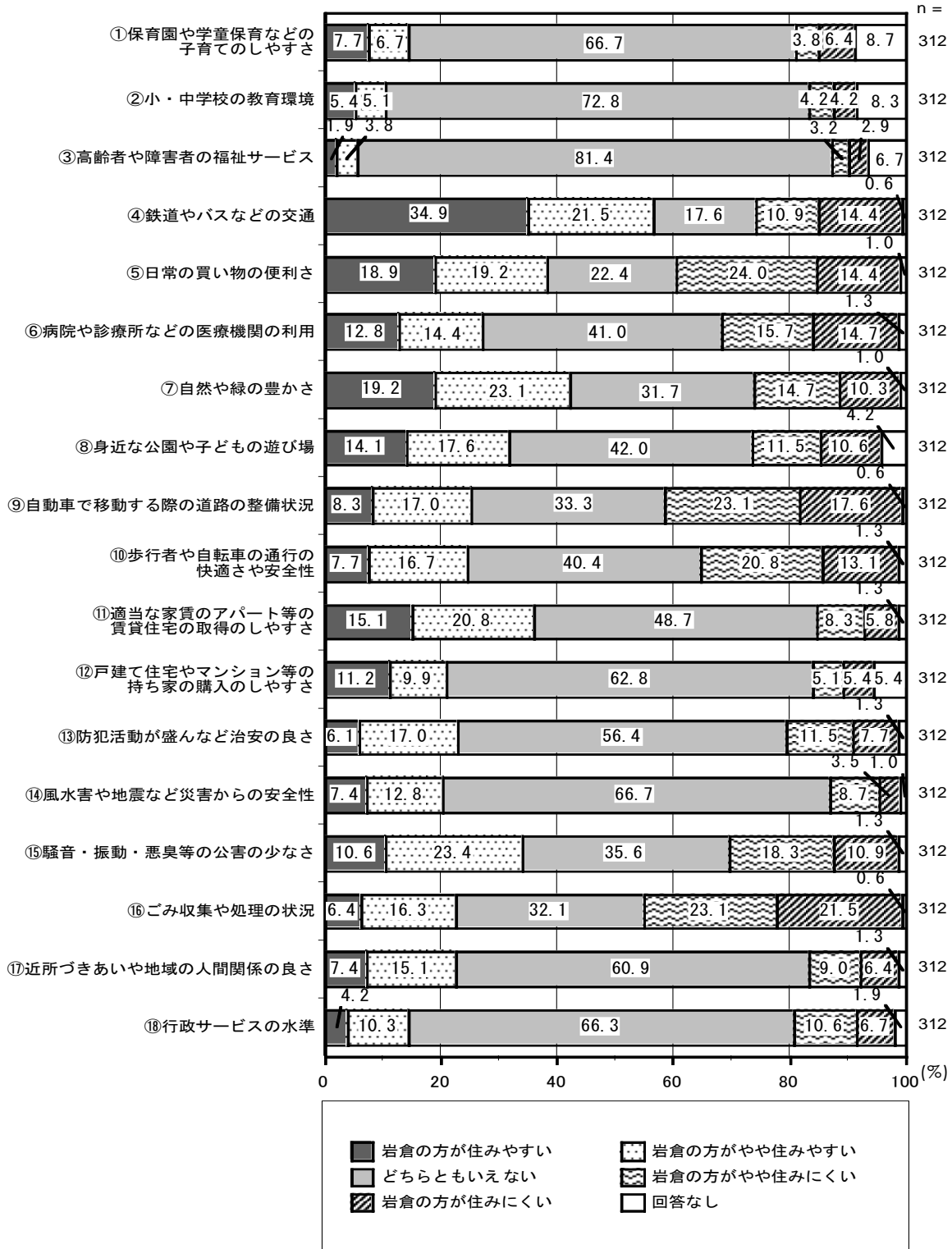


図 2-5-2 「住みやすさに関する比較評価」(評点)

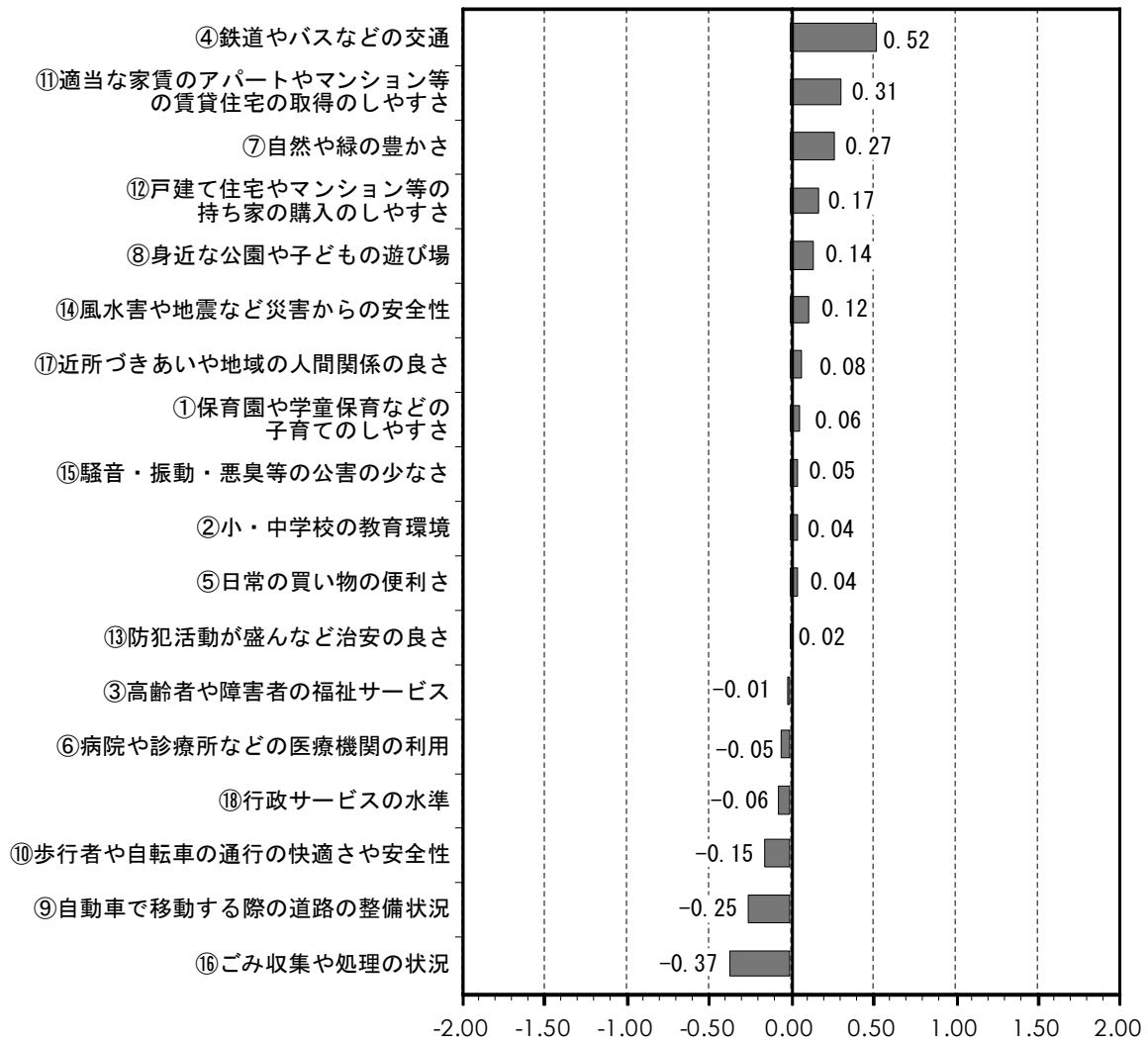


図 2-5-3 性別「住みやすさに関する比較評価」(評点)

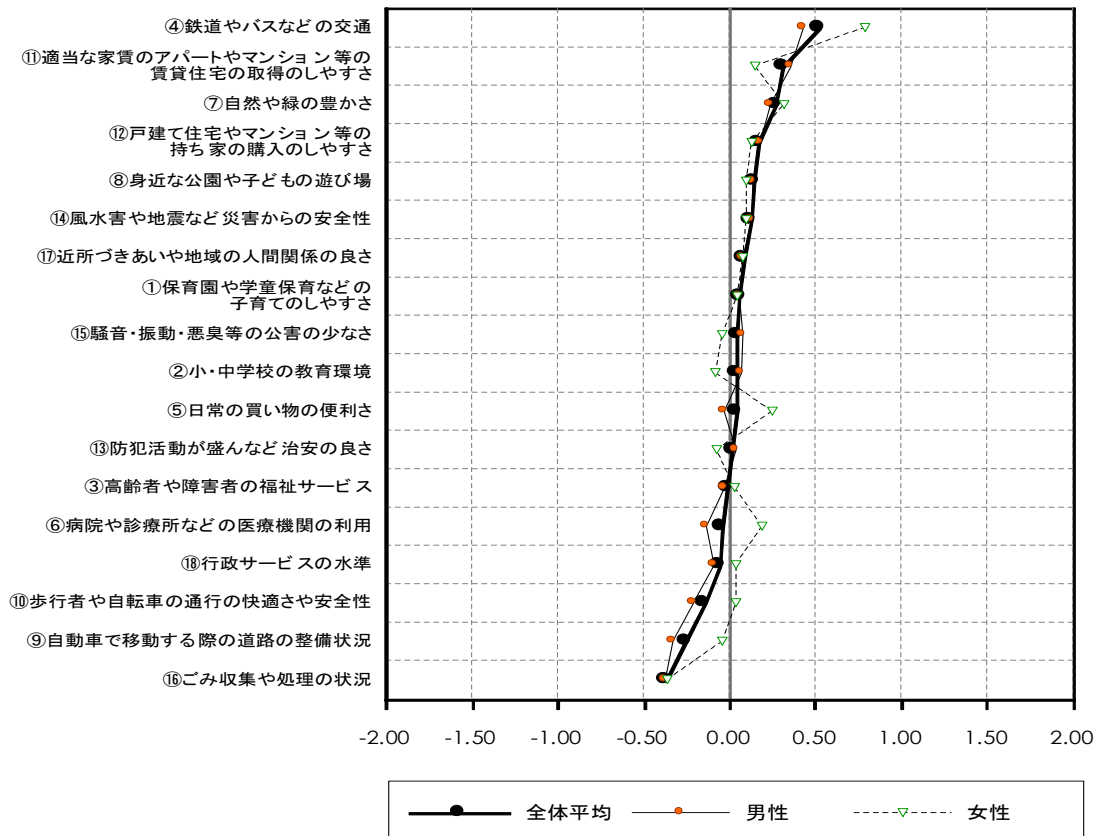
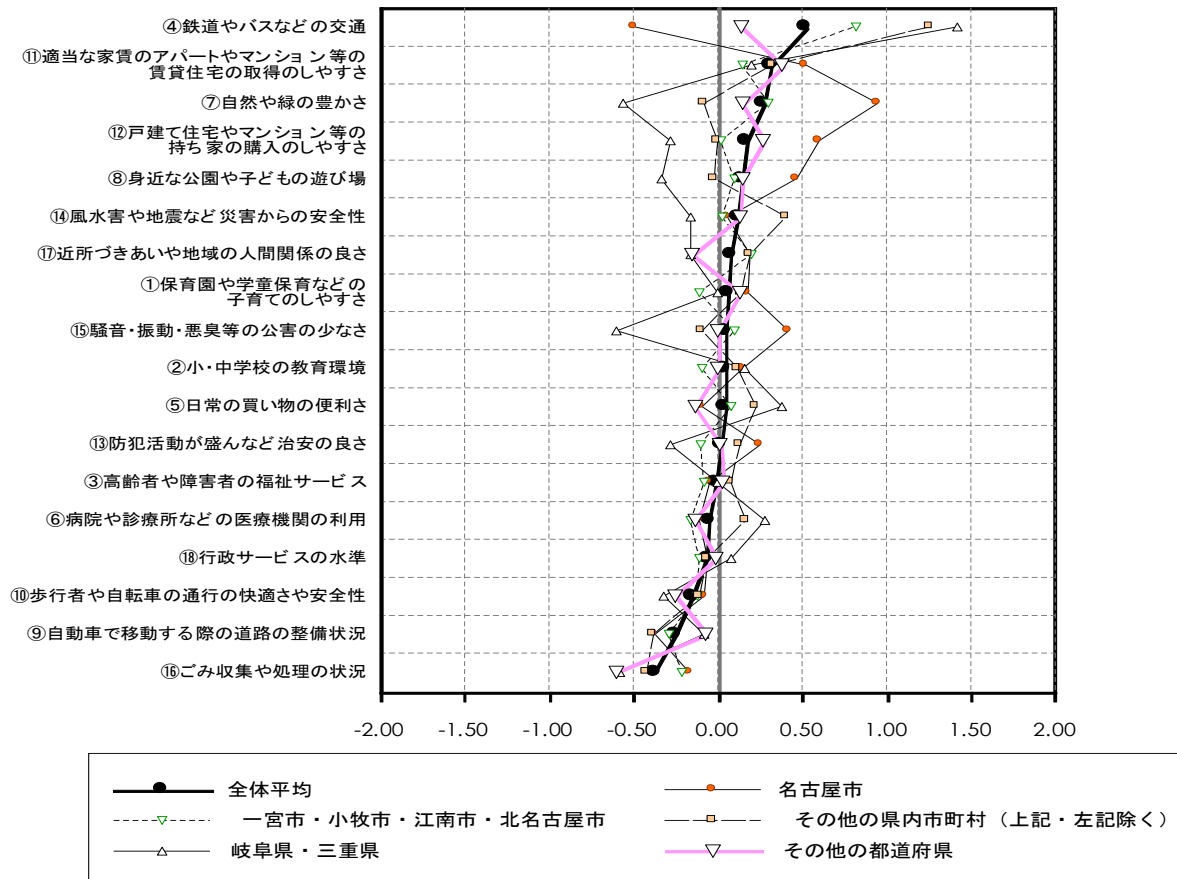


図 2-5-4 前住地別「住みやすさに関する比較評価」



(6) 前住地と比べた場合の岩倉市の総合的な住みやすさに関する評価 (問 13)

問 13 岩倉市に転入する前 (前住地) と岩倉市に転入した後 (現在地) とでは、どちらが総合的にみた場合に住みやすいですか。

前住地よりも岩倉市の方が総合的に住みやすいと評価した人が 45.2% を占めており、住みにくいと評価した人を 20.2 ポイント上回っています。

図 2-6-1 性別「前住地と比べた場合の岩倉市の総合的な住みやすさに関する評価」

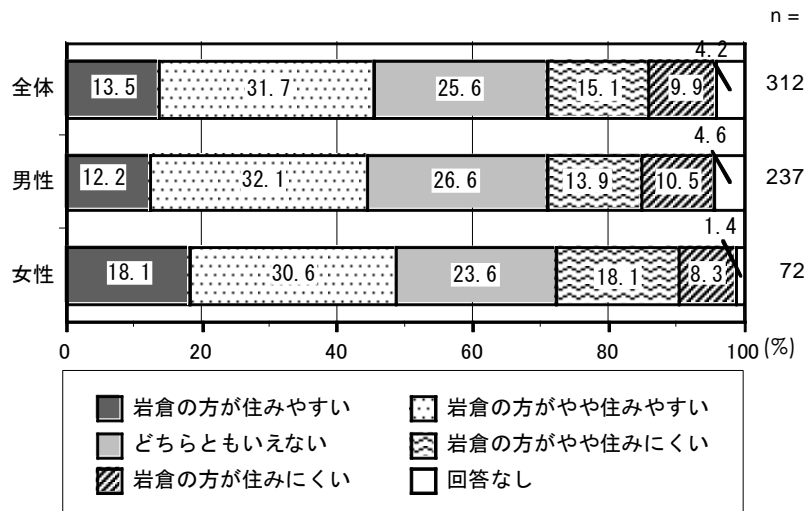


図 2-6-2 年齢別「前住地と比べた場合の岩倉市の総合的な住みやすさに関する評価」

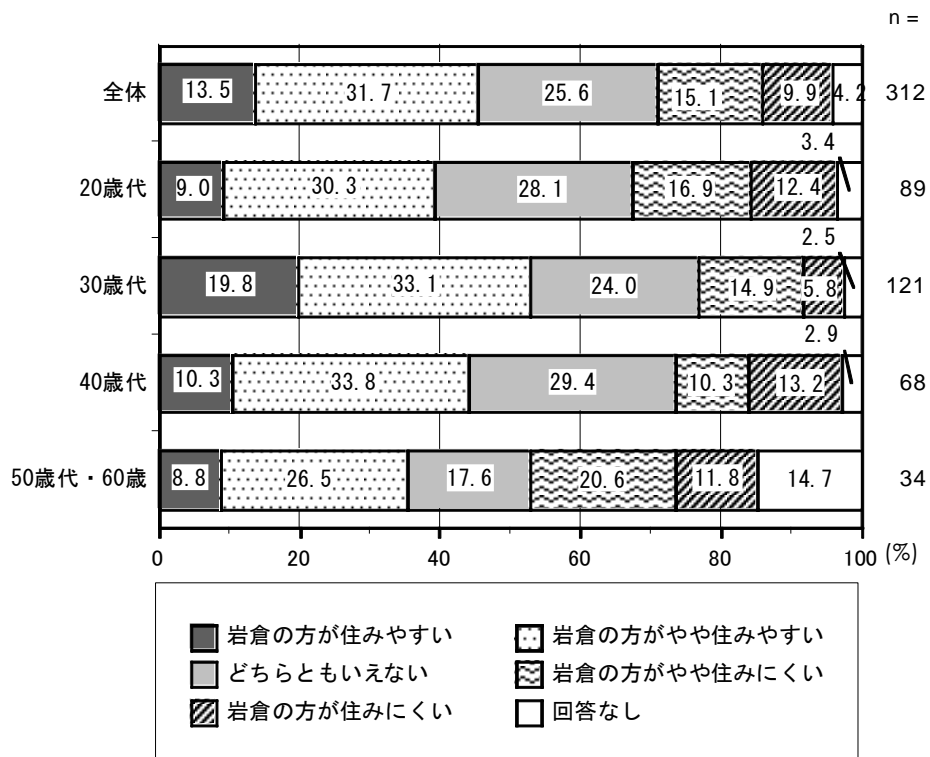
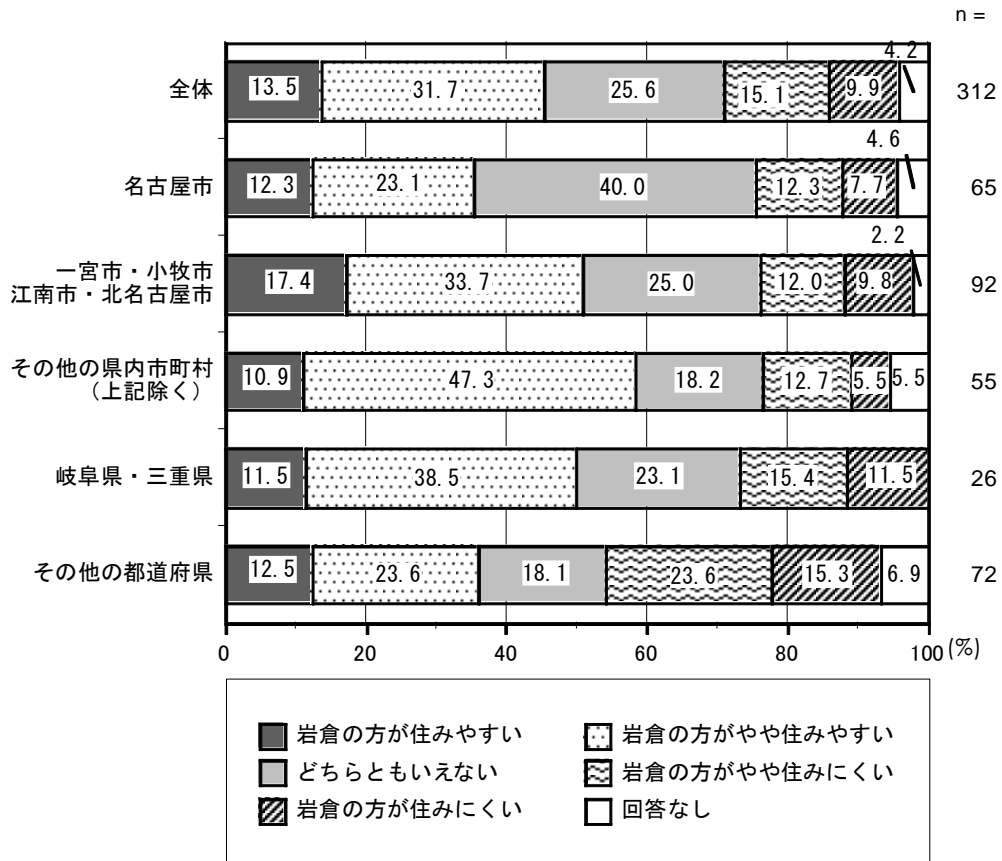


図 2-6-3 前住地別「前住地と比べた場合の岩倉市の総合的な住みやすさに関する評価」



第3章 岩倉市における定住意向について

(1) 定住意向 (問 14)

問 14 あなたはこれからも岩倉市に住み続けたいと思いますか。

岩倉市に対して定住の意向を持つ人は、53.5%を占めています。

図 3-1-1 性別「定住意向」

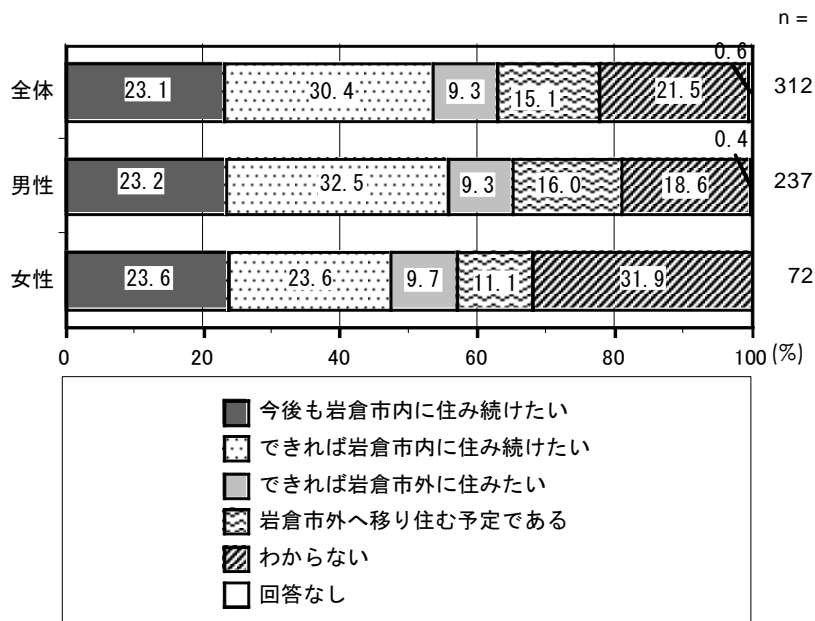


図 3-1-2 年齢別「定住意向」

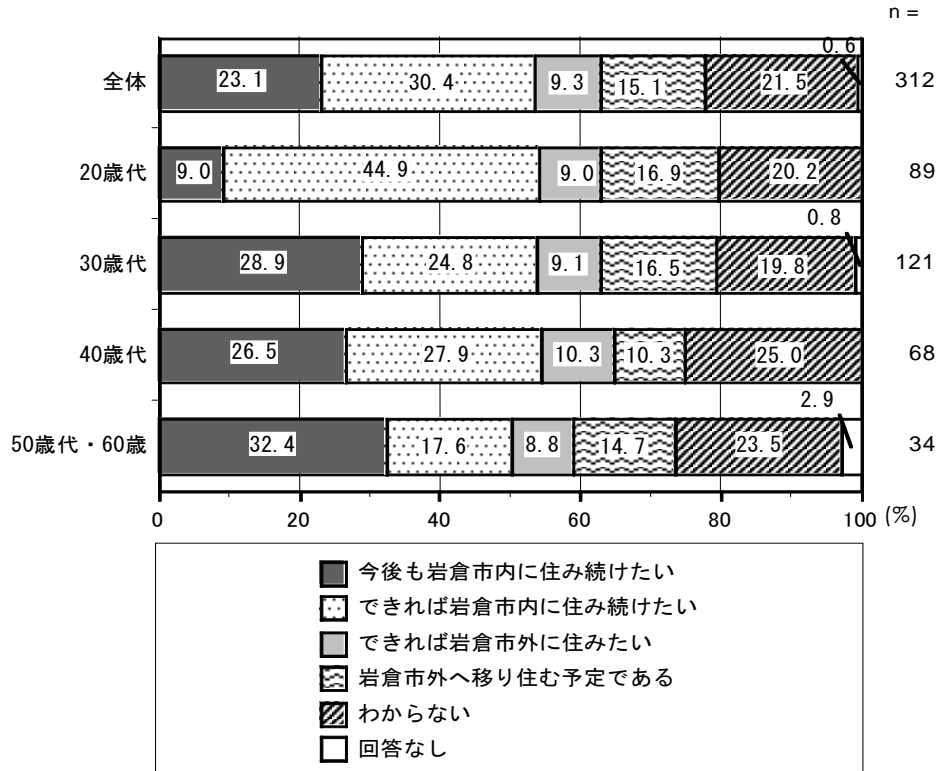
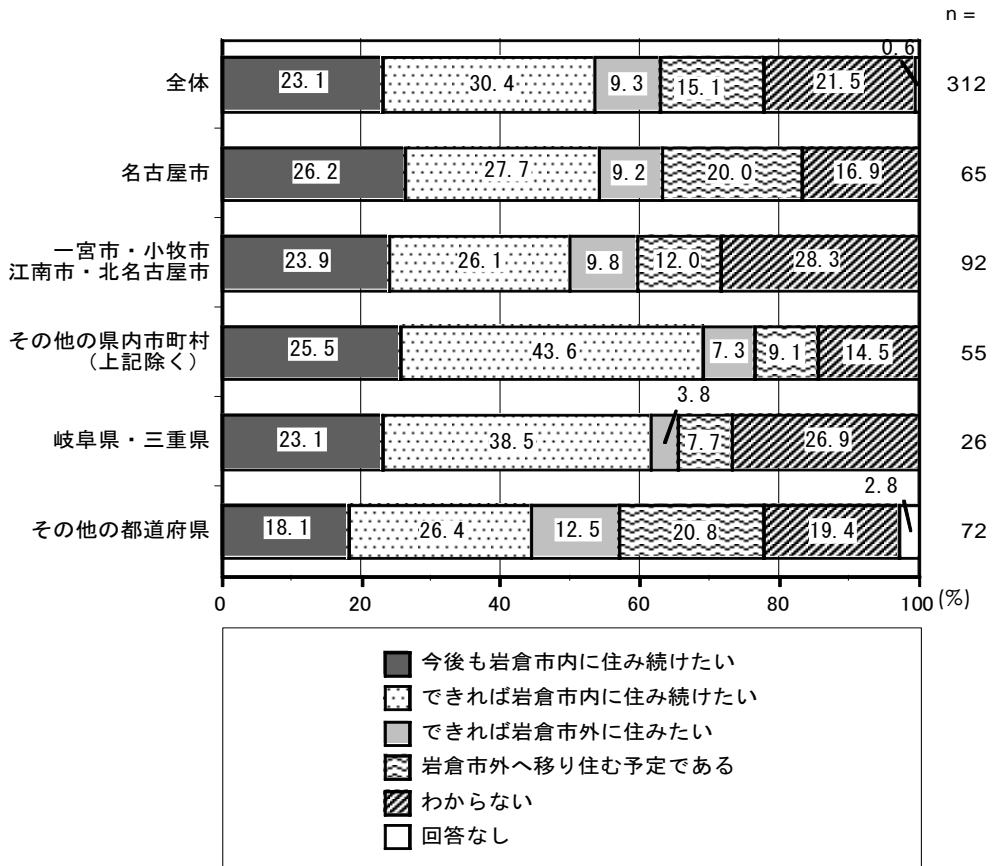


図 3-1-3 前住地別「定住意向」



(2) 転出する場合の理由 (問 15)

問 15 岩倉市から転出することになる場合、主にどのようなことが理由として考えられますか。

【あてはまるものを3つまで選んで番号に○印をつけてください。】

岩倉市から転出することになった場合の理由については、「自分の家を持ちたいため」が34.2%と最も多く、これに次いで、「転勤・転職のため」(27.6%)、「親や自分の家屋や土地が他の市町村にあるため」(25.0%)が多くなっています。

図 3-2 「転出する場合の理由」

